

## 米国 2008年1月以降初めて製造業部門の拡大を示す水準に上昇 (09年8月ISM製造業景気指数)

発表日：2009年9月1日(火)

～8ヵ月連続の上昇～

第一生命経済研究所 経済調査部  
桂畑 誠治(かつらはた せいじ)  
(03-5221-5001)

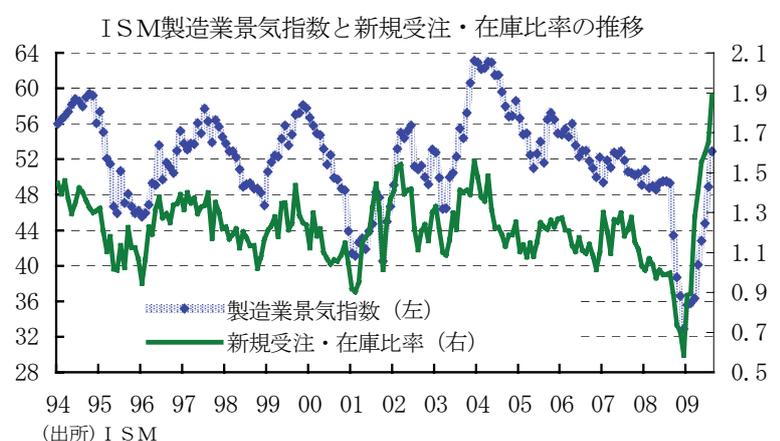
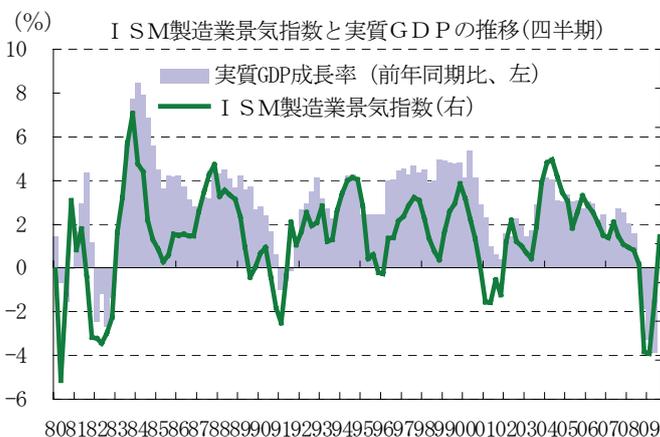
### ISM (the Institute for Supply Management) の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
08/12	32.9	23.1	26.3	29.9	39.6	45.7	23.0	18.0	35.5	39.0
09/01	35.6	33.2	32.1	29.9	37.5	45.3	29.5	29.0	37.5	36.5
09/02	35.8	33.1	36.3	26.1	37.0	46.7	31.0	29.0	37.5	32.0
09/03	36.3	41.2	36.4	28.1	32.2	43.6	35.5	31.0	39.0	33.0
09/04	40.1	47.2	40.4	34.4	33.6	44.9	40.5	32.0	44.0	42.0
09/05	42.8	51.1	46.0	34.3	32.9	49.8	48.0	43.5	48.0	42.5
09/06	44.8	49.2	52.5	40.7	30.8	50.6	47.5	50.0	49.5	46.0
09/07	48.9	55.3	57.9	45.6	33.5	52.0	50.0	55.0	50.5	50.0
09/08	52.9	64.9	61.9	46.4	34.4	57.1	52.5	65.0	55.5	49.5

○8月のISM製造業景気指数は52.9と前月比+4.0%ポイント、8ヵ月連続の上昇となり、市場予想の50.5を上回った。各国での景気刺激策による景気回復、在庫調整の進展によって08年1月以来初めて拡大縮小の分岐点である50を上回り、製造業部門の拡大を示している。拡大した業種数が18業種中11業種(前月6業種)と過半数を上回り、広がりを持った拡大となっている。基調の変化を示す新規受注・在庫比率が上昇傾向にあり、製造業部門の拡大ペースは目先加速しよう。世界的な自動車買い替え支援策による需要の拡大、低水準の在庫を背景とした生産活動の活発化によって、ISM製造業景気指数は年内製造業部門の拡大を示す水準で推移すると見込まれる。

○同統計発表直後の市場反応をみると、株式市場が反応薄、債券市場は一旦金利が上昇、為替市場ではドルが対円、対ユーロで強含んだ。

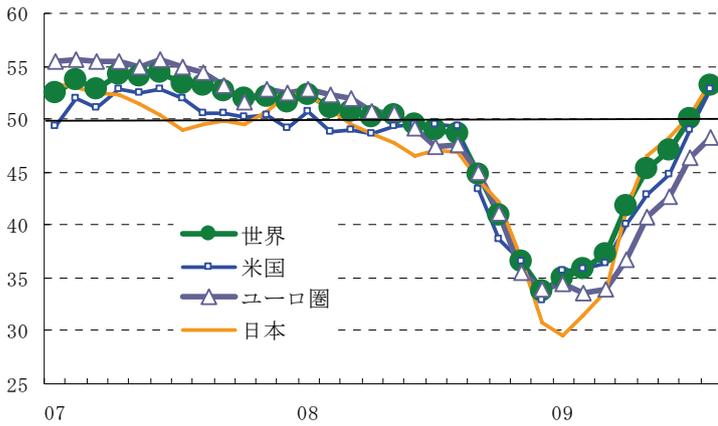
○8月のISM製造業景気指数の52.9という水準は、ISMによると実質GDP換算で+3.7%成長を示すとしており、7～9月期の実質GDP成長率のプラス幅拡大を示唆している。輸出DIが前月から5.0%ポイント上昇した一方、輸入DIが0.5%ポイント低下したことから、外需の実質GDP成長率押し上げが続いていることを示唆している。



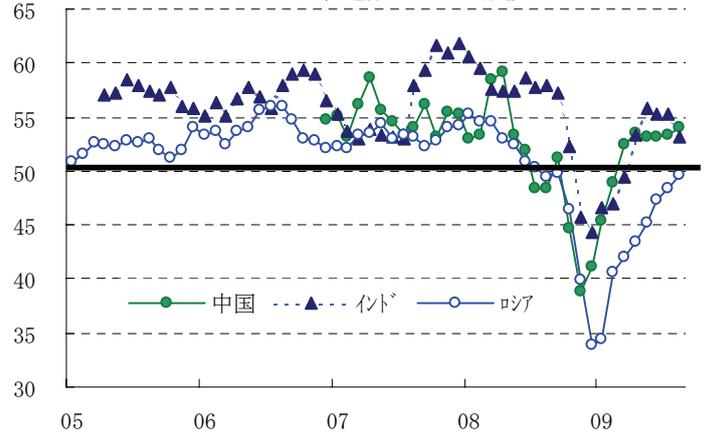
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

○輸出受注D Iが8月に55.5と50を大幅に上回ったことは、新興国、日本、ユーロ圏など世界経済の回復を示している。8月の世界製造業景気指数が53.1と世界的に製造業部門は拡大に転じた。

世界と主要先進国の製造業PMI



(%) B R I C s の製造業PMIの推移



○遅れて動く輸入D Iが0.5%ポイント低下しているが、日本の輸出・生産に先行する傾向がある新規受注D Iが64.9と大幅に上昇していることから、日本を含む先進各国、B R I C s など新興国の米国向け輸出の拡大ペースが今後数ヶ月加速し増加に転じることを示している。

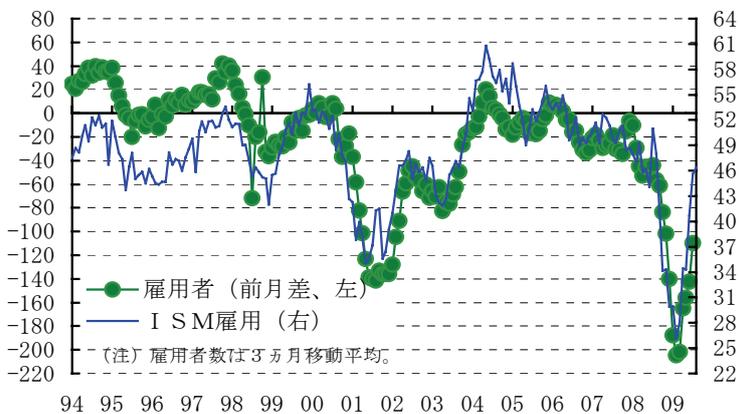
(%) 日本実質輸出とI S M新規受注D Iの推移



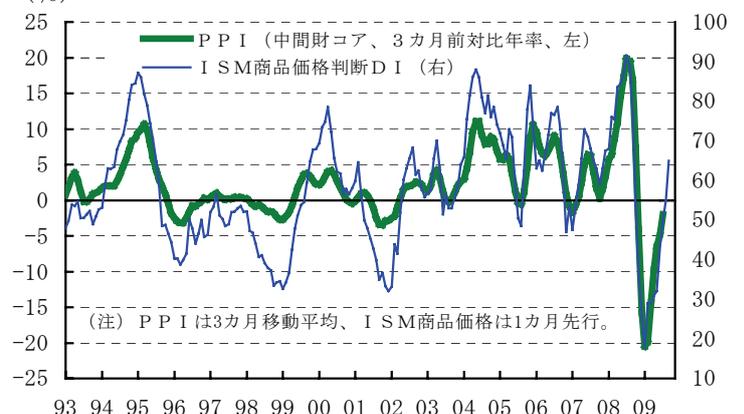
○雇用D Iが46.4と上昇しており、8月の製造業雇用の減少ペース鈍化を示唆。

○投機資金の流入による商品市況の上昇や、ドルの下落によって、仕入価格(価格判断D I)が65.0と川上での物価上昇圧力が強まっていることが示されており、需要の弱い中、製造業の収益を悪化させ、雇用の改善を遅らせる要因となろう。

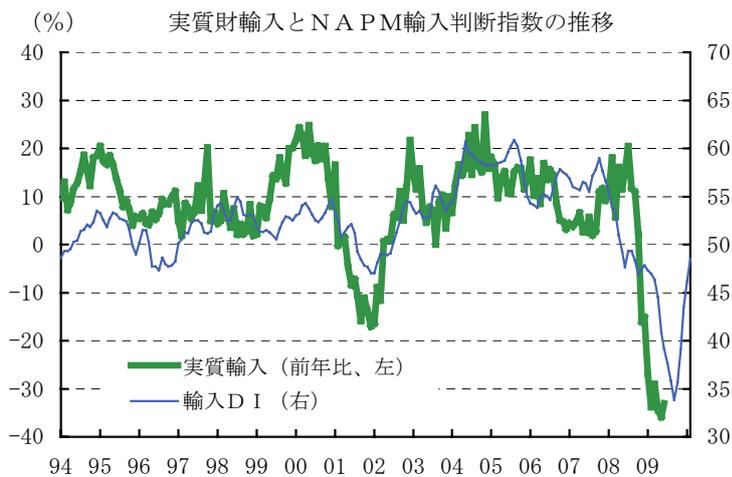
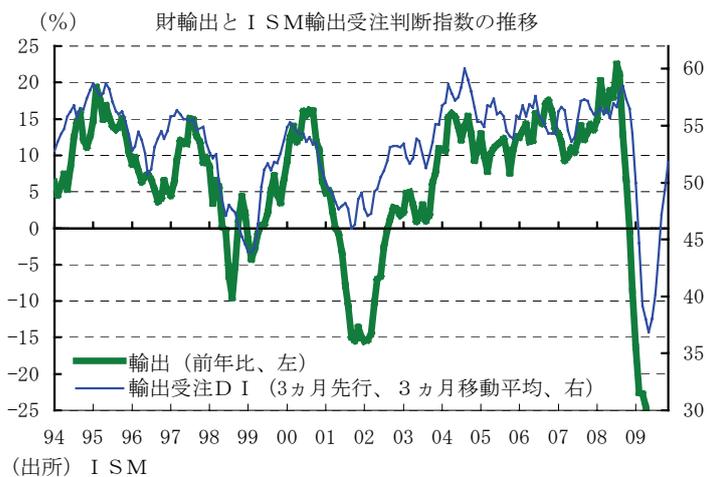
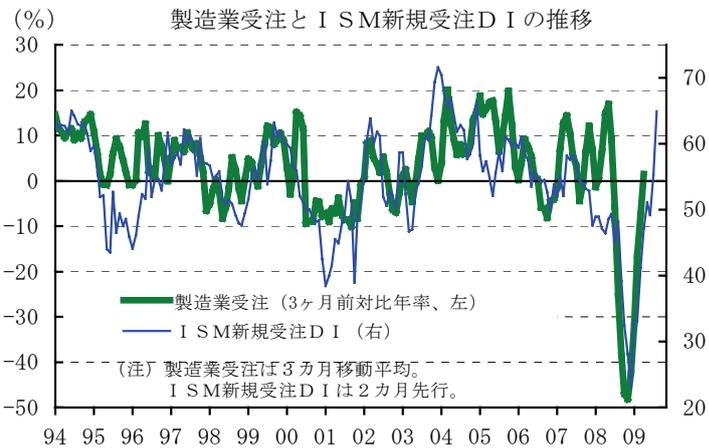
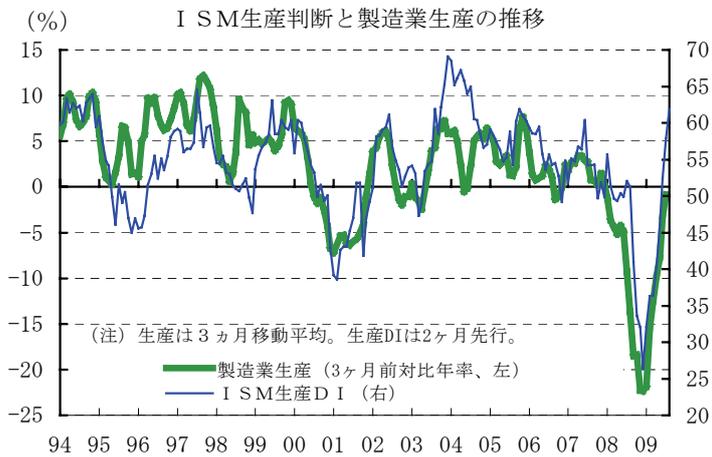
(千人) I S M雇用判断と製造業雇用者数の推移



(%) 生産者物価とI S M価格判断指数の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。